

横浜讃歌



松村 千賀雄

横浜は生糸と共に栄えてきました。上州、信州、甲州など主要な生産産地から八王子を経由して横浜に集まってきた。八王子と横浜を結ぶ横浜線はまさに「シルクロード」でした。

ば、かつては大臣経験者や大都市の知事をやったひとが座るポストと決まっていた。

神奈川県の人口八百五十万人のうち三百五十万人が横浜で、県議員より横浜市議員が上位にランクされるといわれるくらいです。

横浜開港(一八五九年)以来、海の玄関として発展してきた横浜港は、大規模な再生計画が五月三十一日に十五年に及ぶ整備事業を終え、日本を代表する客船ターミナルとして生まれ変わりました。

羽田空港の国際化が進めば、横浜はますます国際都市として発展していく素地を備えています。皆さん、横浜に遊びに来て下さい。

特色を生かして



三忠代表取締役 田村 嘉伸

当社は東穀創設以来の取引員で、先代の田村重吾郎兄弟が設けた五十年になります。当初は小豆相場が主流で私たちが業者が相場の主導権をかなりもっておりまして、その後、上場商品も増えて、大手商社および相場センスある大手の顧客にもめぐまれ、良き時代でした。

小豆相場ではいくつたの名手、達人が生まれました。最強の相場師が出動したとなると、チョウチンがどつとつきまされたから、私どもの売買注文もぐんと膨らむことになりました。しかし、当業者の景気が良かったのも九〇年ごろまでで、商社は専属の先物会社をつくるし、相場師もだんだん減ってききましたから、グローバル化時代に入り、先物業界も一つの節目の時代になりつつあります。先物取引の機能はますます必要となるでしょう。

人生の三つの思い出



グロバリー社長 小坂 周太郎

私は大阪銀行に三十四年間勤務し、この業界には約十年前からお世話になっております。この四十四年の人生を振り返るときさやかな誇りともいえる思い出が三つあります。

一つはバブルを経験したにもかかわらず、不良債権を一銭も出さなかったこと。これは借主の人格・経営能力などを中心に判断し、融資してきたためです。二つ目は資金証券部長時代に商品先物業界で分離保証制度が法制化された時、L/G分離保証及び受託業務保証金を大阪銀行が金融

鎧橋随想

ご一報いただければ



マルモト代表取締役 高橋 邦紀

月に二、三度、女房をつれて、また、気心の知れた友人と外食します。お気に入りの店で、美味しいものを食べ、好きな酒を飲みながら、わいわいがやがや、時間があつという間に過ぎり、フレッシュ出来るのも大事な時間です。

今、食べることができたらと思うのが二つあります。一つは子供のころ、運動会や遠足のたびに母が作ってくれた乾びよりの海苔巻きです。作ってくれた人がいなくなると無性に恋しくなります。もう一つはホルモンの煮ただければ幸いです。

珍品拝見

カンボジアのミニ国旗 復興願いの支援活動

岡本昭

會長室の出入り口近くのボードの端に二国親交のミニ国旗が飾ってある。華麗な飾りつぼとの組み合わせに違和感があるが、それが逆になさな旗を印象づける。「この国の旗がわかる？」と岡本昭さん。わからない。「カンボジアの国旗だよ。」

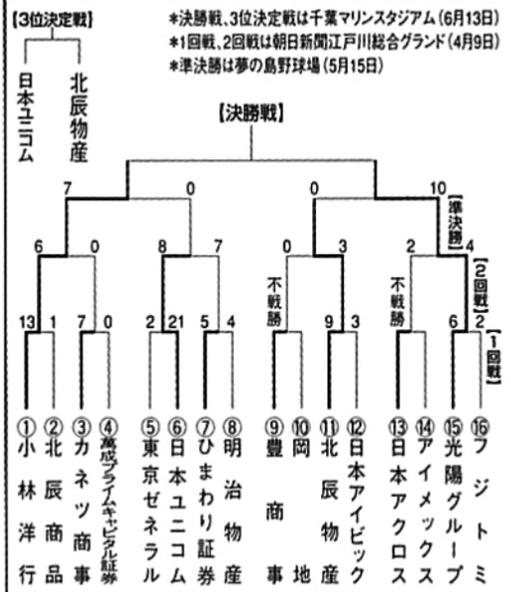


友好のミニ国旗と飾りつぼに力したいという願いが秘められて

決勝戦は光陽G対小林洋行

商品取引員親睦野球大会

日刊工業新聞社主催の第十一回商品取引員親睦野球大会は十六チームが参加、四月九日から開催された。五月十五日の準決勝戦で光陽グループは、一回戦六



の所属している大阪・天王寺ライオンズクラブは四十周年記念アクティブとして、カンボジアに小学校建設費用二万五千円、邦画換算で三百万円を寄付した。もちろん、岡本さんの提案

証言・戦後先物史 東工取繁盛記(1) 東京工業品取引所特別顧問 間渕直三

対二、二回戦四対二と接戦をものにした後、準決勝では大勝。これに対し、小林洋行は終始、大差をつけて勝ち上がった。三位決定戦は日本ユニコム対北辰物産。...

事務局長の「商品取引員名簿」が出来上がり、六月十四日の通常総会終了後、懇親会を予定しています。会員の皆様におかれましてはご多忙とは存じますが、総会に引き続きご出席いただき、親睦を深めていただきますことをお願いいたします。

最近の間渕直三氏

棚橋官房長に目説かれる

ゴム課に在籍したまま商務課の仕事をするという変則的な立場でしたが、当時、通産省では官僚主義が跋扈(はつこ)しておらず、おらかなものでした。この時代、商品取引所の開設が相次ぎ、私も名古屋繊維取引所、福井人絹系取引所などの開所式にも出席しましたよ。